



春夏秋冬

2024
vol.37
季刊発行

快適な住まいのために



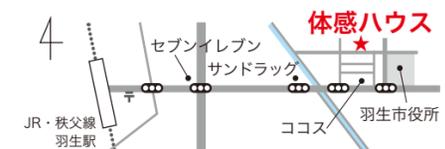
冬暖かく夏涼しい家にするためには、断熱・気密性能が大切です。なかでも窓の断熱性能が極めて重要です。なぜなら夏に流入する熱の74%また冬に流出する熱の50%は窓からなのです。そのため諸外国では窓の断熱性能に厳しい基準を定めています。日本の家は木材が豊富だったため柱、梁骨組床板、壁、天井と木造で組み立てられました。窓や建具も木で作られましたが、雨が多く台風も来る日本では一昔前の木製窓では隙間も多く硝子も木との組み合わせで隙間も多く不便を強いられていました。アルミサッシの登場で耐水性がよく隙間もないことで木製建具にとってかわりアルミサッシが日本の家の主流になりました。他の国では基本的にアルミサッシはほとんど使われていません。なぜならアルミと樹脂で比較すると、アルミは樹脂の1,400倍も熱を通してしまうのです。アルミを使っている時点で十分な住宅の断熱性能の確保が困難なのです。他の国々ではアルミサッシはほとんど使われず、樹脂製もしくは木製サッシが主流を占めてます。窓の断熱性能向上には、様々なメリットがあります。冷暖房光熱費の削減、家の中の室温差を減らすことが出来ます。ヒートショックは家の中の室温差が脳や心臓に負担をかけることを言います。また、冬の寒さや夏の暑さが大幅に軽減され、暮らしがとても快適になります。

お知らせ

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！

ホームページ
リニューアルしました。
<http://www.e-hous.co.jp/>

是非ご覧ください。



羽生市東6-5-13 ☎048-563-1123

eco 情報

樹脂サッシ

夏の暑さ、冬の寒さ、梅雨の長雨、地震に台風と一年を通じて自然環境の厳しい日本。木製建具からアルミサッシへ進化したように、これからの家は快適性を求めるなら樹脂サッシです。



ワンジャ 王家 菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



file No.037「薬膳湯(薬膳スープ)」

夏の疲れと食欲不振に効果があるといわれています。



● 材料

- 棗(なつめ) 適量
虚弱による疲れ、息切れ、めまい、食欲不振
- 竜眼肉(桂元肉) 適量
疲れ、無気力、下痢、めまい、不眠、記憶力減退
- 枸杞(クコ)
肝臓に脂肪が溜まるのを防ぐ、ホルモンの分泌を盛んにする

● 作り方

- 1, 分量は人数に合わせて、お好きな量を入れてください。
 - 2, これらの材料を鍋にかけ30分、材料の酸し出す味で、十分に美味しく召し上がれます。
- お好みによって氷砂糖を加えてもいいかもしれません。

編集後記

7月8月9月と暑い日が続きました。今までの春夏秋冬と流れが変わっています。暑さ対策、寒さ対策をきちっと見つめ直してください。

ソーラーサーキットの家



発行：有限会社 小山建設
羽生市中央2-6-3 info@e-hous.co.jp
☎048-561-6878 編集長：中田 新一



● web もご覧ください
<http://www.e-hous.co.jp/>

OB report 訪問

小山建設で建てられた
住まいを訪問し、今後
より良い家づくりをする
ためのヒントを見つけ
たいと思います。

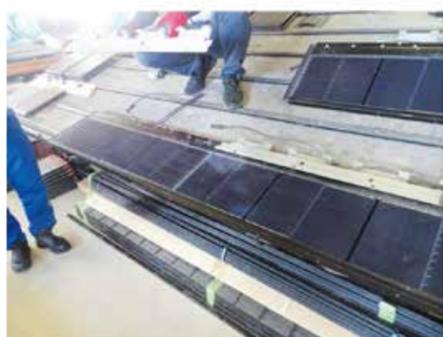


ソーラーサーキット交流会

ソーラーサーキットの家、加盟店がソーラーサーキットの母体である(株)カネカの大坂本社で交流会が開催された。北は青森、南は沖縄まで34名が参加しソーラーサーキットの可能性や集客戦略など共通の取り組みをしているからこそ仕事上の悩みや集客について、活発な意見交換がなされ、有意義な一日が終了した。



翌日は会場を変えカネカの工場で屋根と一体化した太陽光発電パネルの設置見学やメンテナンスの方法など、太陽光パネルといっても上乗せ型や屋根材一体型など屋根に合わせたいろいろな方法があり、実際実物を見ることにより進化した最新の情報を学べた。有意義な二日間でした。



地域の交流

地蔵尊祭

毎年8月23日は相生町地蔵尊祭が開催され、新盆を迎えた、ご家族が提灯を納めに来るという認識でしたが、地蔵尊も年に一回の御開帳ということで新盆以外にも、お参りをさせていただき木製の菩薩は珍しいので写真を撮らせてくださいとか、地元の我々よりも関心の多い方が大勢参加してくれ菩薩様のありがたみを改めて感じた一日でした。



匠の 知恵

「鉋」

作業場を整理していたら父が使っていた鉋がたくさん出てきた。機械がない時代大工さんは全てを道具を使って加工してきた。木への愛着、道具への愛着は、はかり知れない。

